

NoMapsとは

NoMapsは、札幌・北海道を舞台に、テック・エンタメ・クリエイティブの力で世界をおもしろくする、産学官民が連携した「ALL HOKKAIDO体制」で運営する都市型複合フェスティバルです。

ジャンル・職種・性別・年齢・国籍を問わず、「ワクワクする未来を自らつくる」という思いを持つ多様な人々が交わり、未来を語り合い、仲間を見つけるための交流の場となっています。2016年のスタート以来、2026年で11年目を迎えました。

NoMaps2026のテーマ「**GALAPAGOS**」。

■ 数字で見るNoMaps（2025年度実績）

項目	2025年度実績	（参考）2024年度
開催期間	2025年9月10日(水)～14日(日)・5日間	5日間
総事業数	294事業	209事業
総会場数	86会場	49会場
延べ来場者数	58,289人	75,837人
道外からの参加者比率	約3割	約2割

※事業数は前年比約1.4倍、会場数は約1.75倍に拡大。2025年は期間後半の荒天により屋外プログラムの中止等が生じ、延べ来場者数は前年を下回った。

■ 区分別 延べ来場者数（主催事業）

区分	事業数	延べ来場者数
Conference	142事業	7,004人
Exhibition	18事業	11,732人
Event	47事業	5,988人
Meet-up	5事業	1,100人
連携事業	75事業	32,165人

■ 参加者の主な傾向（パス登録者対象）

居住地：北海道71.9%／道外28.1%。道外比率が昨年の約2割から約3割へ拡大し、東京都20.9%（昨年10.4%）を中心に関西圏からも参加が見られた。パス発行数も前年比15%増。

性別：男性70.1%（昨年66.8%）、女性28.5%（同31.9%）、その他1.4%。行動規範・アンチハラスメントポリシーの策定やジェンダーをテーマにしたセッション増などにより、女性の参加割合が増加傾向。

役職：経営者・役員層から管理職、一般社員、学生、フリーランスまで幅広い層が分散して来場。多様なレイヤーの参加者がつながりやすい場となっている。

満足度：5段階評価で「満足」（4・5）が85%、「3」を含めると95.7%。最高評価の「5（大変満足）」は60.4%。

NoMapsの体制・展開カテゴリー

■ 産学官民で構成される実行委員会

NoMapsは、民間企業・官公庁・教育機関が連携する産学官民一体の実行委員会が主催。企業・NPO・スタートアップ・学生などが共創する自律分散型のチームが、下記の各カテゴリーを運営しています。



■ NoMapsが掲げる5つのミッション

1. クリエイティブ産業の活性化と他産業への波及
2. 創業支援・新産業の創造・投資の促進
3. クリエイティブな市民文化の醸成
4. 札幌・北海道の国際的知名度・魅力の向上
5. 「世界屈指のイノベティブなまちSAPPORO」の実現

■ 開催概要

主催：NoMaps実行委員会（2016年04月設立／代表 伊藤博之）

会場：札幌市内中心部の複数会場で同時多発的に開催

公式サイト：<https://no-maps.jp/2026>

※数値は主催者（NoMaps実行委員会）発表のNoMaps2025開催実績に基づきます。

NoMaps2026取材概要

▷取材申込方法

NoMaps2026のプログラムについて、取材を希望される場合は、下記の**NoMaps2026 プログラム一覧**を確認の上、取材申込フォームから必要事項をご記入ください。申込内容を確認し、各プログラムの担当者や出演者等と共有した上で、取材の可否についてご連絡いたします。

【プログラム一覧】

(<https://x.gd/KQjk4>)



↑事業リスト



↑申込フォーム

【取材申込フォーム】

(<https://forms.gle/1YJHxwnjmWWmSsph7>)

＊現場との共有・企画内容の確認等の関係から、取材申込は必ず取材対象事業の開催日の前日までにお済ませください。

＊申し込みのない会場への飛込取材は、原則お断りさせていただきます。

＊事業によっては一度に取材可能な人数に限りがあります。申込順に手配させていただきます。

＊札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）内での取材にあたっては、NoMaps事務局への取材申請とは別に、会場管理者に対して同じ内容の申請が必要となります。忘れずにご申請ください（両方の申請がなされていない場合、取材ができませんので予めご了承ください）。

【札幌駅前通地下歩行空間・取材届】 (<http://www.sapporo-chikamichi.jp/download/>)

※他会場については、状況確認中のため、取材申請ベースでご案内いたします

▷申請後の取材の流れ

取材の許可が得られた場合、下記受付にて「プレス腕章×1」と「プレスパス（人数分）」をお受け取りください。

■プレス腕章受け渡し方法

取材希望日に以下の場所にて受け渡しを行います。

場所	北海道札幌市中央区北1条西1丁目カナモトホール北西角（ローソン北側）テナントスペース NoMaps実行委員会事務局
受渡日時	9月23日（水）～27日（日）10:00～18:00
受渡物	プレス腕章（代表者1名分）

＊上記時間で受け取れない場合は別途ご相談ください。

＊取材後は必ずご返却をお願いします。

＊27日18時の返却が難しい場合は、[資料：お問い合わせ]に記載の住所（NoMaps事務局）へご返送ください。

＊取材にあたっての注意事項をよくご確認の上、お申し込みください。

＊申請方法がわからない、申込フォームが機能しないなどのご質問・お問い合わせは、NoMaps広報担当（press@no-maps.jp）までお願いします。

取材申込及び取材にあたっての注意事項

《申込について》

- 当日申込、及び飛込による取材はできません。必ず前日までに申請をお願いします。
- 取材内容欄に、掲載・放映する媒体名（放送局）、番組名、放送日時/発行日等を記載してください。
- 原則、1メディアにつき、取材者2名、カメラマン1名の3名までとさせていただきます。取材内容・体制によりこれを超える人数での取材を希望される場合はご相談ください。
- 申込内容を確認後、出演者などと調整し、取材可否等について折り返しいたします。
- 今後も適宜情報更新、追加されるセッション、イベント、実証実験等を予定しています。申込後に、別の事業も追加で取材をご希望の場合は、その旨をご連絡いただければと思います。

《当日対応について》

- 取材時間・場所を考慮いただき、プレス受付(特設事務局)にてプレス腕章をお受け取りください。
- 当日の取材者変更は原則できません。
- 会場内では各係員の指示に従ってください。（受付がある場合は、プレス腕章をご提示ください）
- 機材、荷物等は各自で管理ください。

《撮影・収録関連》

- 出演者・登壇者等へのコメント及びインタビュー収録は、ご本人に承諾を得た上で行ってください。
- ライブイベントでは、原則、映像及び音源の収録はできません。また、フラッシュ撮影はお断りいたします。アーティストによって撮影の可否があり、撮影エリア及び撮影許可曲を指定する場合がございます。
- 被写体によって掲載前に写真確認が必要な場合がございます。確認が必要な方は当日お知らせいたしますので、必ず事務局（必要に応じて所属事務所等）に確認を取った上でご使用ください。
- 演出に影響する可能性があるワイヤレスマイク、照明器具の利用はお断りさせていただきます（カンファレンス内など一部インタビューでの照明器具はこの限りではありません）。
- 来場者の撮影については、肖像権等に最大限配慮をいただきますようお願いいたします。会場の雰囲気や来場者の様子等を撮影する場合、来場者等にビントを合わせないようお願いいたします。また、特定の個人の撮影にあたっては必ず許可を得てください。

《取材後について》

- プレス腕章を必ず、プレス受付(特設事務局) または下記住所まで郵送でご返却ください。
- 取材後は、掲載紙・放送情報等の共有や同録の提供などご協力をお願いいたします。
- 順次、オフィシャル写真の提供も行っていきます。必要に応じて適宜お問い合わせください（内容により時間がかかる場合があります）。

お問い合わせ

NoMaps実行委員会 事務局

〒003-0065 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 サッポロビジネスビル2FH

011-812-2000

広報担当 吉田

Mail : press@no-maps.jp